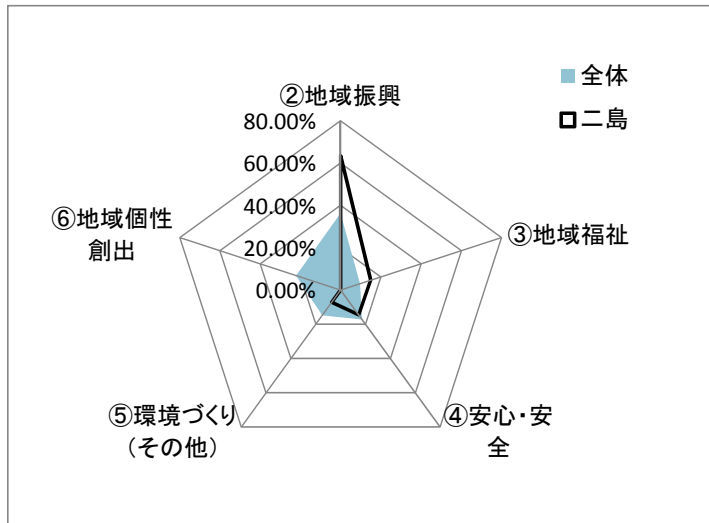


## 秋穂二島地域 地域づくり協議会運営状況概要(平成25年度決算)



交付金配分枠	9,282,000 円
交付金決算額	8,449,248 円
その他収入	742 円
決算/配分	91.0%

各項目の決算	
①協議会運営	2,871,922 円
②地域振興	2,007,101 円
③地域福祉	472,088 円
④安心・安全	458,685 円
⑤環境づくり(土木工事)	2,413,000 円
⑤環境づくり(その他)	227,194 円
⑥地域個性創出	円
<b>決算総額</b>	<b>8,449,990 円</b>

### 地域づくりの活動方針 (テーマ)

「HOT愛を二島」に取り組み、理想郷「二島」を創造する。

### 総括

地域の課題解決のため、地域づくり交付金の使用については委員会(総会)で事業の取り組みについて説明をしています。地域を活性化するために一歩ずつ進めていく中で、「地域づくりはプロセス」であることを再認識して取り組んでいきます。理念にありますように「オンリーワン」づくりを目指した活動をみなさんと話し合い、「二島にしかない」ものを作り上げてまいります。

### 概要

①協議会運営	事務局長給与、事務局員給与、事務費
②地域振興	各地区開催活性化事業、地域活性化事業、コミュニティクラブ運営支援事業、地域とともにある学校づくりの支援、兜山古墳整備事業、HOT愛二島コンサート、たんぼぼ学級活動推進事業、講演会等定期開催、地産地消B級グルメ審査会開催、広報紙作成、自治会活動推進事業
③地域福祉	子ども広場開催事業、地域課題研究・研修、健康ウォーキング
④安心・安全	地域安全パトロール支援事業、地域防災活動推進、危険箇所看板設置、安心な地域活動の推進
⑤環境づくり	土木工事、地区花いっぱい運動支援、環境整備事業、清掃活動助成事業
⑥地域個性創出	

今年度、重点的に取り組んだ事業

①	視点	健康で元気な二島づくり(子育て支援活動の支援)		
	事業名	子ども広場開催事業	決算額	302,288円
	事業概要	<p>(実施内容) 子育て支援に関する事業</p> <p>秋穂二島地域では、将来を担う子どもたちの健全育成を中心に、世代を超えたコミュニティ活動に取り組んでいる。</p> <p>その一つであるこの事業は、未就学児童から小学生を対象とした子育てイベントを開催するもので、地元の元教師による子育て講演会による親世代のサポートとともに、子ども達には地域の高齢者による昔遊び体験を通じて地域内の大人たちとのコミュニケーション促進を行なっている。</p> <p>地域住民の団結力が大いに発揮される行事であり、協議会関係者以外の住民の参加も年々増えている。</p> <p>(実施時期) 平成25年9月～12月</p> <p>(参加人数) 160人</p> <p>(成果) 健康福祉部員のメンバーによる、イベント企画で参加者が増えている。</p> <p>(評価) 高齢者の参加もあり、地域をあげての事業として定着してきた。</p> <p>(今後に向けて) 趣向を考えた催しとしたい</p>		
②	視点	安心・安全な二島づくり(自主防災活動・地域防災の推進)		
	事業名	地域防災活動推進	決算額	283,854円
	事業概要	<p>(実施内容) 防災簡易無線機の増備、研修会の実施</p> <p>海に面する当地区では、台風襲来時の高潮被害発生の恐れも高く、近年激化する自然災害から住民を守るための防災対策の充実に取り組んでいる。</p> <p>災害発生時、防災拠点である地域交流センターから、各自治会との情報伝達を確実にこなうため、全自治会に対して簡易無線機の配備を実施し、非常時に備えて講習会の実施や防災訓練を実施している。</p> <p>(実施時期) 平成25年6月、平成26年2月</p> <p>(参加人数) 80人</p> <p>(成果) 各集落役員の参加により、防災意識の向上</p> <p>(評価) 異常時の無線機による連絡体制が図られた。</p> <p>(今後に向けて) 自主防災組織の推進及び研修会の実施</p>		
③	視点	活力あふれる二島づくり(地域資源の情報発信)		
	事業名	兜山古墳整備事業	決算額	71,545円
	事業概要	<p>(実施内容) 古墳周辺の整備を行い、案内板の設置を行った。</p> <p>地域の歴史資源である兜山古墳を地域住民の憩いの場として地域住民自身で整備に取り組むことにより、地域への愛着や誇りを醸成していこうとするもの。</p> <p>(実施時期) 平成25年6月29日(土)</p> <p>(参加人数) 36人</p> <p>(成果) 景観も良くなり、案内板設置により場所が分かりやすくなった。</p> <p>(評価) ボランティアの参加が増えた。</p> <p>(今後に向けて) 地域の子ども達をはじめ、もっと多くの住民を巻き込んで、どのようなプロセスを共有しながら整備するか検討する。</p>		